

広報ひこね

2002

5/15



金亀児童公園前に架かる仮橋から彦根城表門に至る通路



彦根城博物館を背にした久保田さん

表紙では、「住みたい 住み続けたいまち」彦根の表情を写真で紹介しています。写真をお持ちでない場合は、**困**情報政策課広報係で撮影します。☎22-1411（内線431）へ気軽に連絡してください。

裏門は、表御殿の勝手口のようなものでしょうか。お城や博物館を訪れる人は、表紙写真の道を通っていただくようになっていきます。博物館の屋根を眺めながら樹々の下を通る道は、思いのほか好評のようです。私は、訪れた人たちが迷わないよう案内しています。道のあちこちにはいろいろな種類の樹木が植えられていて、興味を持つ人もたくさんおられます。そうした人に樹の名前を教えてさしあげるのも、楽しい仕事です。再来年の春までという限られた期間ですが、多くの人に通ってもらいたいものです。

彦根城の表門橋は、今年の1月31日から解体修理工事が行われていて通れません。その代わりに、かつて裏門があったところに仮橋が架けられています。

久保田 幸男ゆきおさん（芹川町）

表紙のことば